

「地方のインフラは大丈夫なのか?～地方からの報告～」

共催： NPO 法人シビルNPO 連携プラットフォーム NPO 法人社会基盤ライフ
サイクルマネジメント研究会

協賛(予定)：土木学会 日本建築学会 日本コンクリート工学会 日本材料学会 日本鉄鋼協会、
セメント協会 土木学会認定 CPD プログラム(予定)

【目的】

平成 28 年 11 月に、産学官民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組む「インフラメンテナンス国民会議」が設立されてから半年。国土交通省によりますと、中でもインフラメンテナンスが危機的状況に追い込まれているのが地方だといいます。問題なのは、老朽度合いを診断したり、適切な補修方法を選択したりする専門の技術者が不足しているばかりか、技術開発も追いついていない、さらに人口減少が続く中で財政的余裕がないことが、その理由だといいます。しかし本当に地方は困っているのでしょうか?対応が困難なのでしょうか?東京では地方の実情を生で聞く機会が殆どありません。そこで、地方の中でもインフラメンテナンスに積極的に取り組んでおられる富山市、金沢市、岐阜市の行政や学者などの専門家を招いて地方の実情を直に伺い、危機的状況と言われる地方の実情・課題を共有するとともに、国の政策担当者を交え、今後、インフラメンテナンスをどう進めたらよいか、解決への道筋を探っていければと思います。

【開催日時・場所】

2017 年 7 月 19 日(水) 13:00～16:30

「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」5F 大雪 (JR 市ヶ谷駅前)

【プログラム】

開会の挨拶と趣旨説明(本 NPO 法人 阪田憲次理事長) 13:00～13:05 (5 分)

第一部：ミニ講演 13:05～14:25 (80 分)

- ① 「インフラメンテナンスで地方自治体が直面する課題と取組み ～富山市スタイル～」
植野芳彦氏(富山市建設技術統括監)
- ② 「地方自治体のインフラメンテナンスを推進するために若手教員だから出来ること
～北陸での挑戦～」
宮里心一氏(金沢工業大学教授)
- ③ 「インフラメンテナンス分野の人材育成、産官学連携、新技術導入への取組み ～岐阜
大学スタイル～」
六郷恵哲氏(岐阜大学名誉教授)
- ④ 「地方自治体の抱えるハードルは何か ～課題と処方箋を探る～」
西川和廣氏(国立研究開発法人土木研究所理事長)
- ⑤ 「インフラメンテナンス革命 ～インフラメンテナンス国民会議が目指すもの～」
鈴木学氏(国土交通省総合政策局事業総括調整官)

第二部：パネルディスカッション

「市民の信頼を得ながらインフラの維持管理・更新をどう図るか」 14:35 ～16:25

○コーディネーター 本 NPO 法人 齋藤宏保副理事長(元 NHK 解説主幹)

○パネリスト

* 第一部講演者 植野芳彦氏、宮里心一氏、六郷恵哲氏、西川和廣氏、鈴木学氏

* 本 NPO 法人 大田孝二(理事) 1) 地方で一番困っていることは何か?

2) このままの状態が続くと、どんな事態が懸念されるのか?

3) どんな対策が必要なのか?

4) 提言

閉会の挨拶(本 NPO 法人 阪田憲次理事長) 16:25～16:30 (5 分)

【意見交換会】

16:45～ 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」7F 白根

【参加申込み】

定員 150 名 先着順 セミナー 2,000 円 意見交換会 2,000 円

申込先 URL <http://kokucheese.com/event/index/463710/>